

小児看護学概論

- ・ 家族システム理論と円環パターン
- ・ 家族の危機
- ・ ABCXモデル
- ・ きょうだい支援

森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

2025/5/7
住吉智子

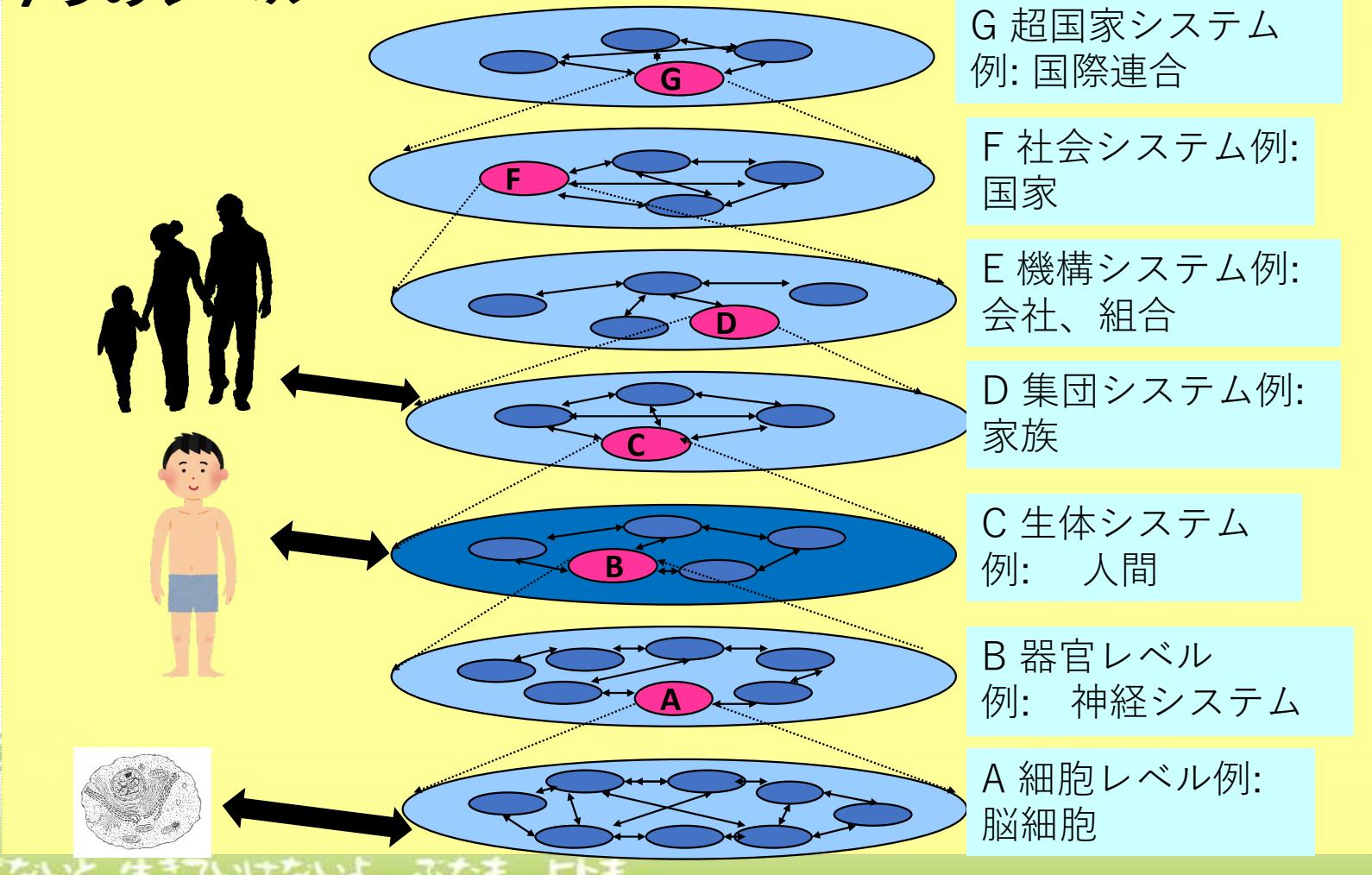
家族危機ときょうだい支援



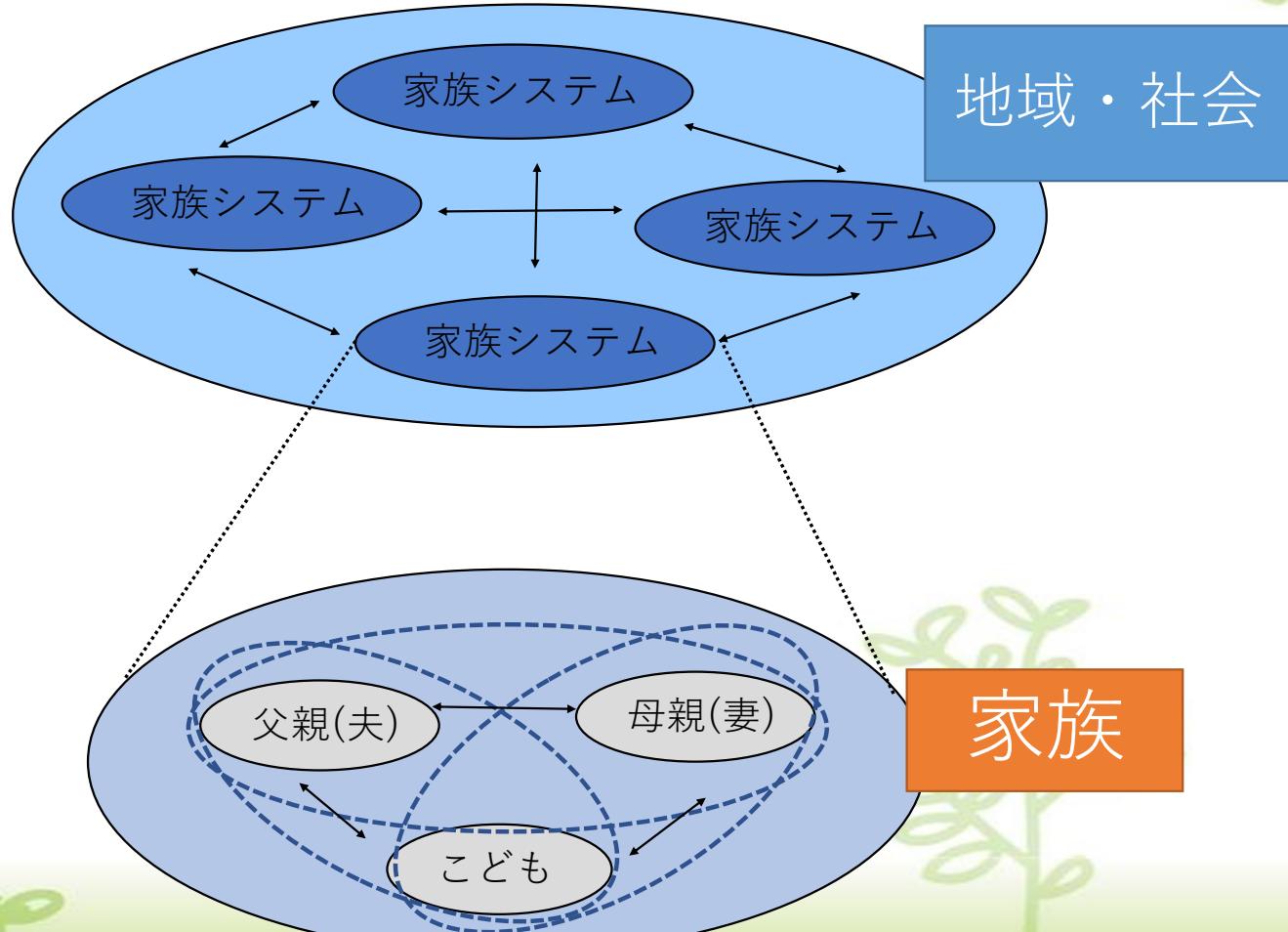
森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

システム の考え方

7つのレベル



家族システム論



森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

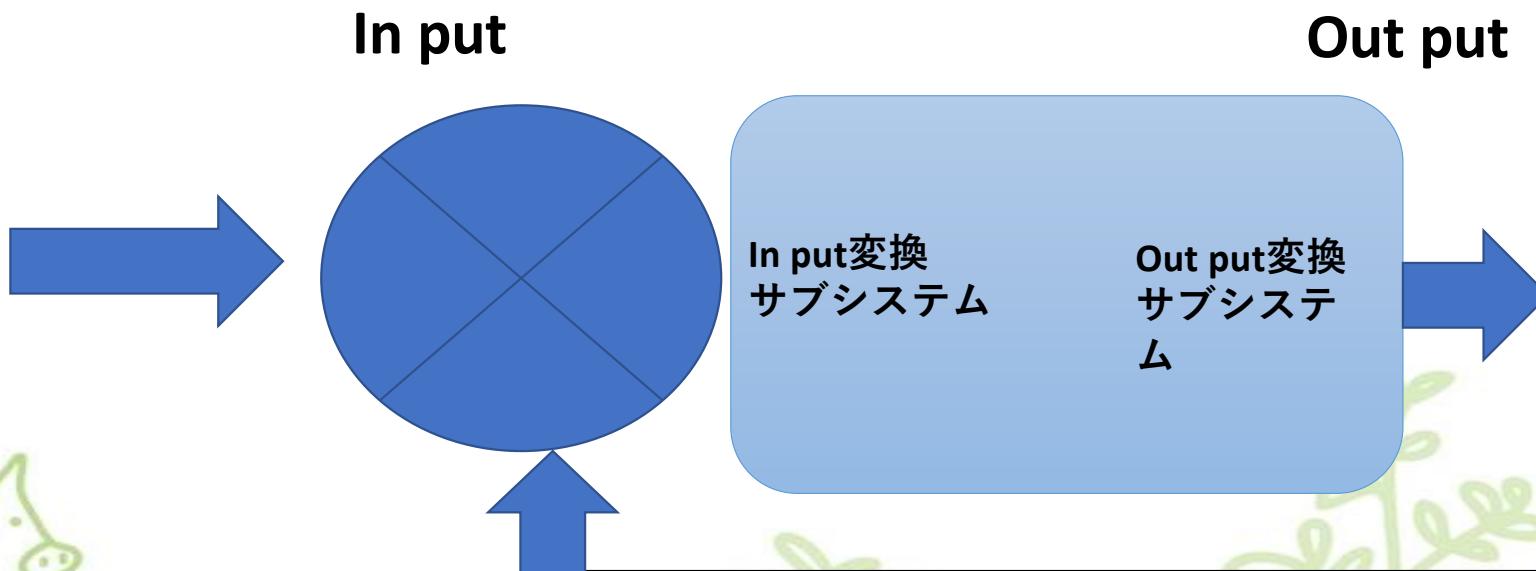
家族看護 看護の対象は?

- ・家族をひとつのシステム(まとまり)としてみなして、家族を対象として援助します。
- ・家族成員1人1人を対象とするのではなく、メンバー間の「関係性(相互作用)」に介入します。

森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

システムとしての人間・家族

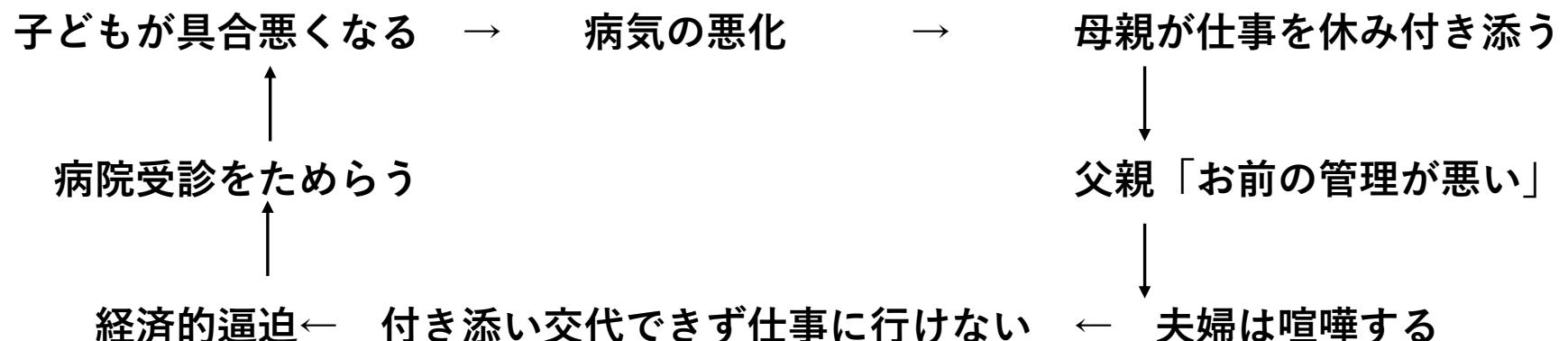
円環的(Feedback)パターン



森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

結果 = 原因 → 結果 = 原因

↑ ↓
原因 = 結果 ← 原因 = 結果



円環的パターンを変化させる

結果=原因 → パターンを変える → 結果=原因 → 結果=原因



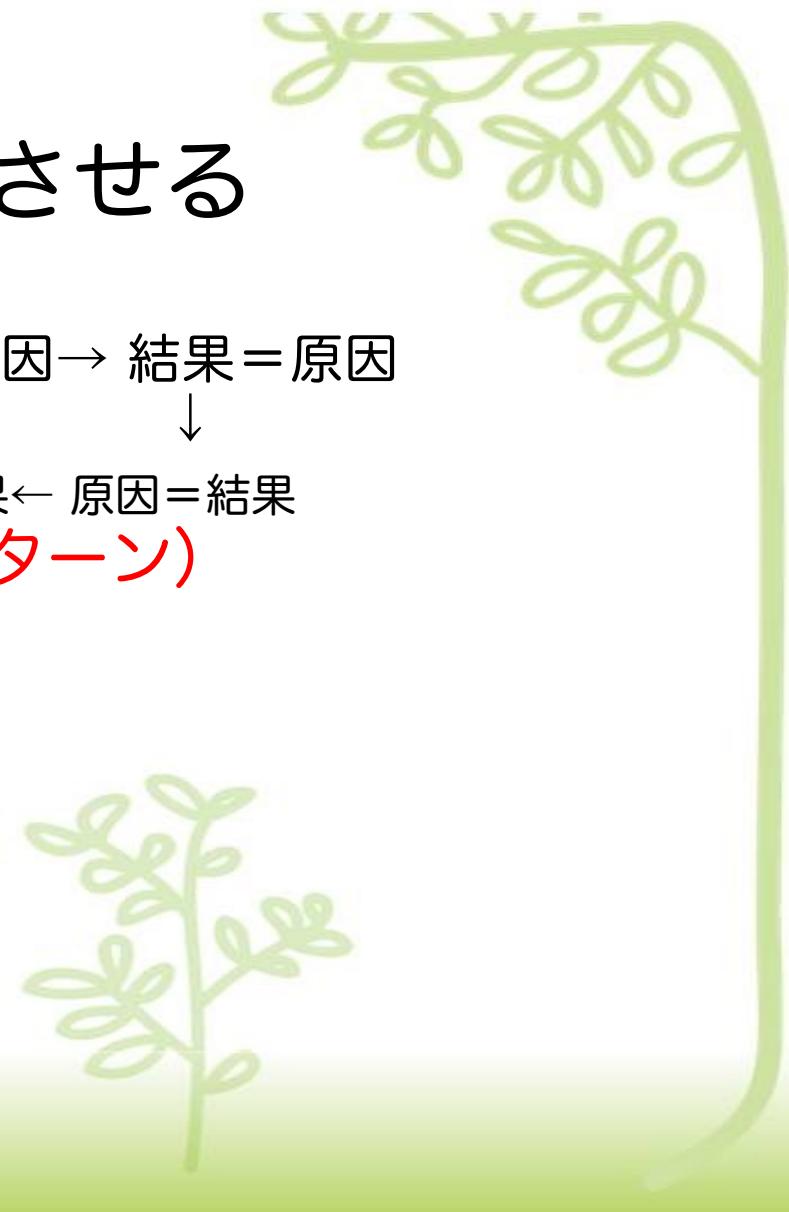
× 原因=結果 ← 原因=結果
(新しい円環的パターン)

原因=結果 ← 原因=結果



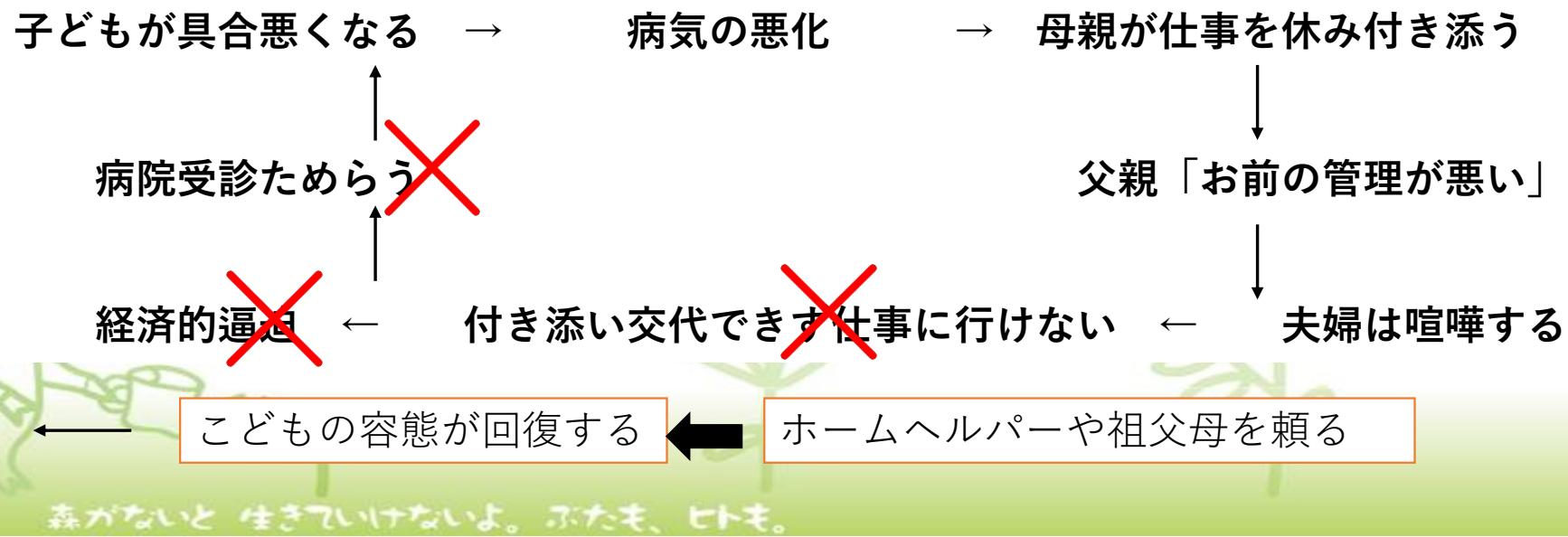
元の円環的パターンには、戻らない

森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。



結果 = 原因 → 結果 = 原因

~~原因 = 結果~~



家族看護 看護の対象は?

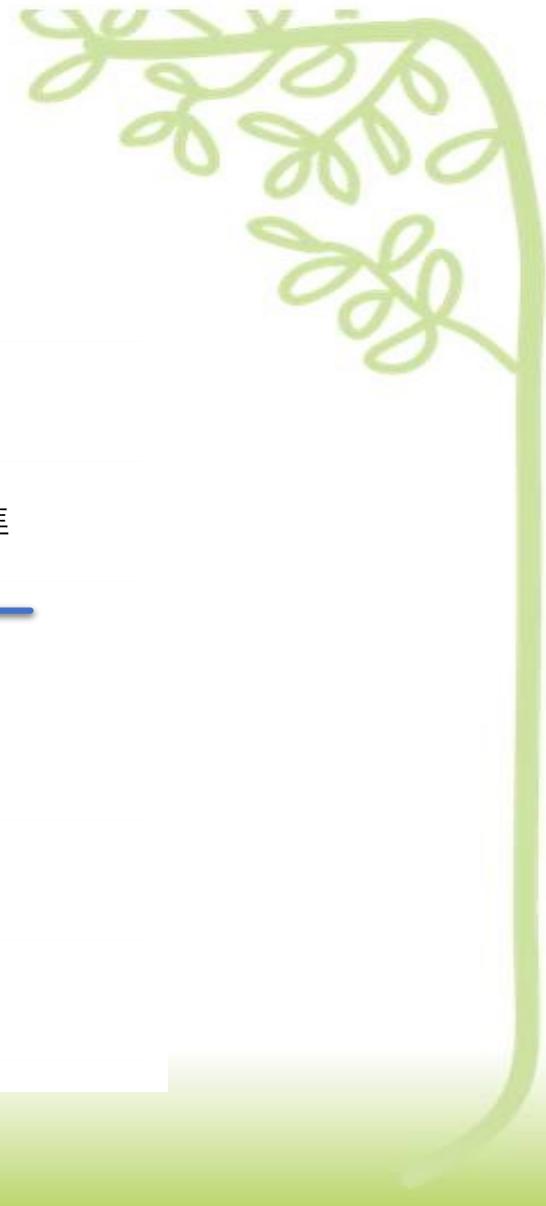
- ・家族をひとつのシステム(まとまり)としてみなして、家族を対象として援助します。
- ・家族成員1人1人を対象とするのではなく、メンバー間の「関係性(相互作用)」に介入します。

森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

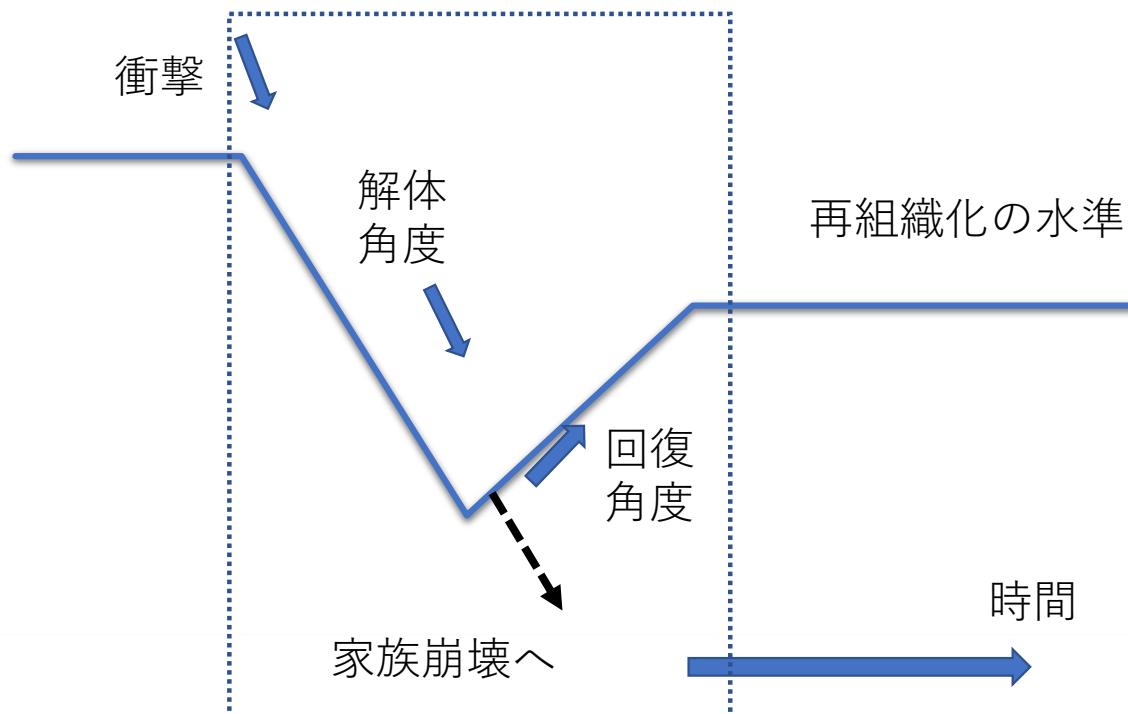
家族の危機はなぜ起こるか

1. 未体験な()の大きさ
2. 衝撃を除去・改善する家族のセルフケア不足
3. 衝撃を除去・改善するための()の不足

森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。



家族の危機の起こり方

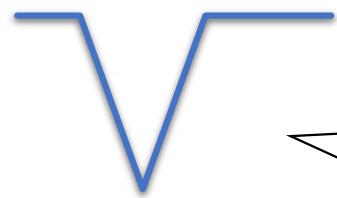


ジェットコースターモデル 修正版(石原)

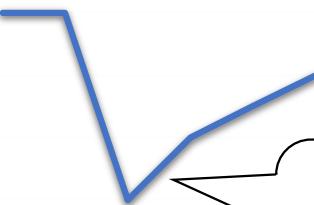
森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。



順応の形



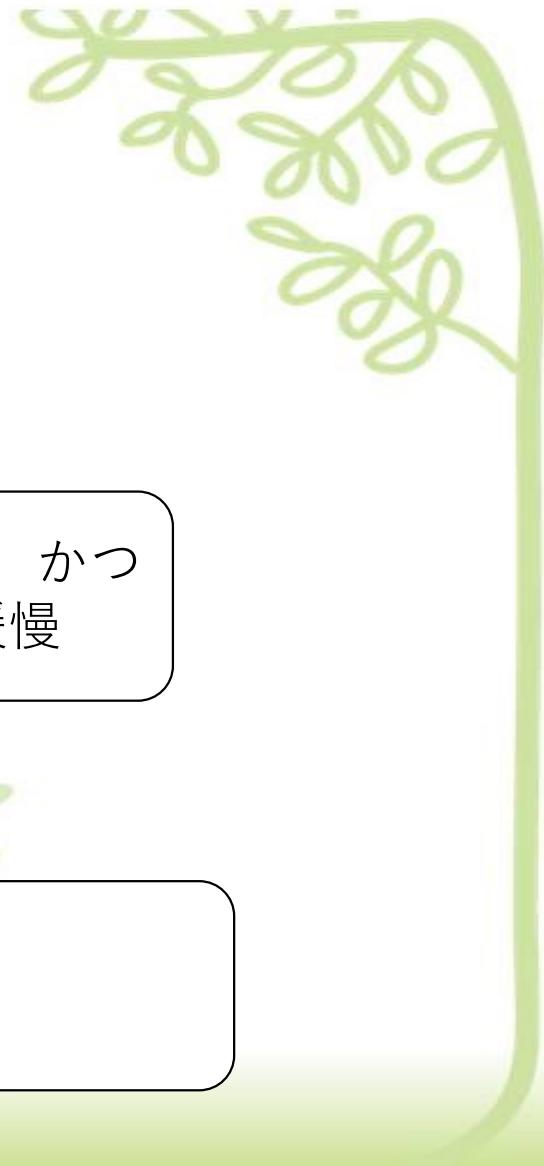
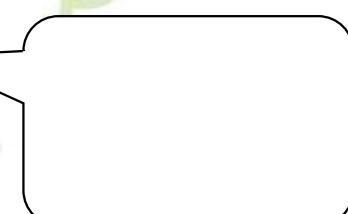
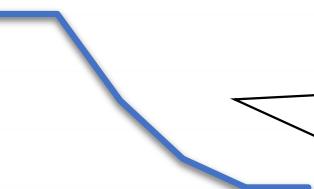
良好、かつ
早い順応

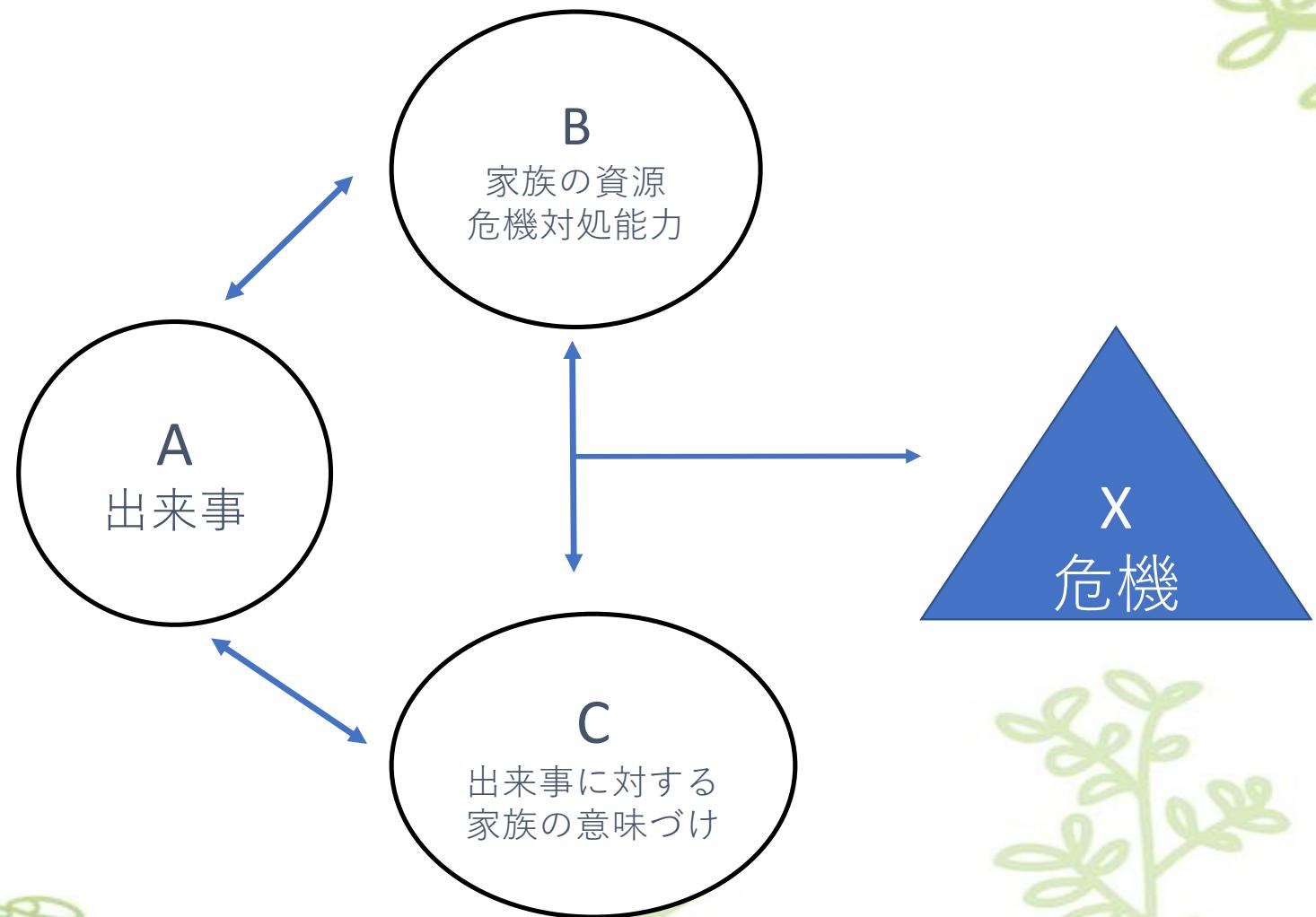


良好、かつ
緩慢



森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。





Reuben Hillのストレス対処理論

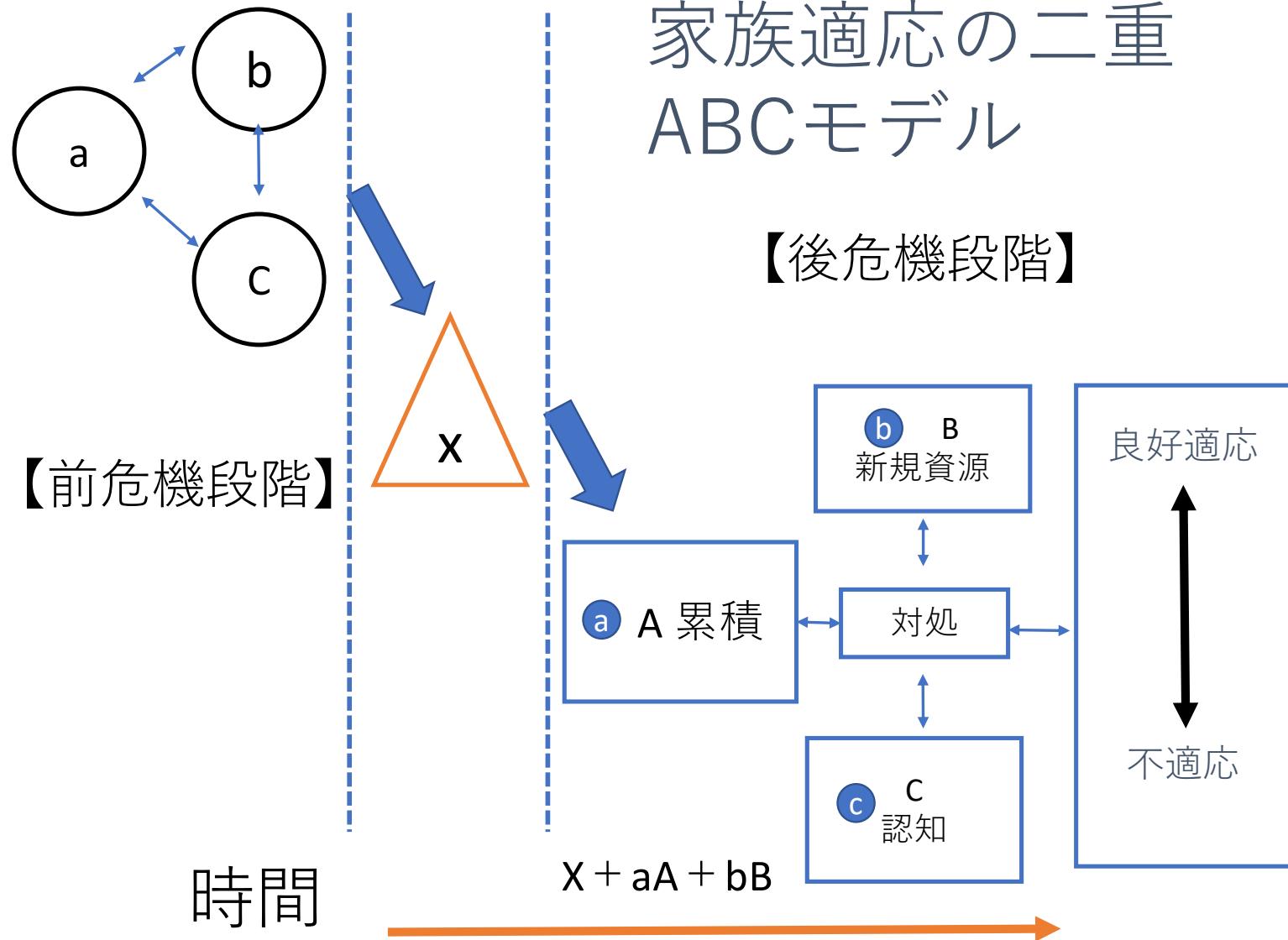
森がないと 生きていけないよ。ふたご、ヒトモ。

家族ストレスの対処法と代表的な理論モデル

ABCXモデル

A要因(ストレス源となる出来事)は、B要因(家族危機対応資源)と相互作用し、またC要因(家族が出来事に対してもつ意味づけ)と相互作用してX結果(家族危機)が生じるという危機発生過程の構造をいう。

このモデルの特徴は、何らかの出来事が直接に家族ストレスや危機状態をもたらすのではなく、家族資源と、状況に対する意味づけという2つの媒介変数との関連によって、危機が起こることを示している。



家族のアセスメントとは

1. 家族にとっての**ストレス源**を明らかにする。
 2. 家族のストレスに対処する家族の**能力**を明らかにする。
- ・家族看護モデルに基づいて、情報を収集し、分析し、解釈することから、家族のニーズが明らかになり、援助の目標が設定できる。そして具体的援助を計画し、実施することへと発展する。

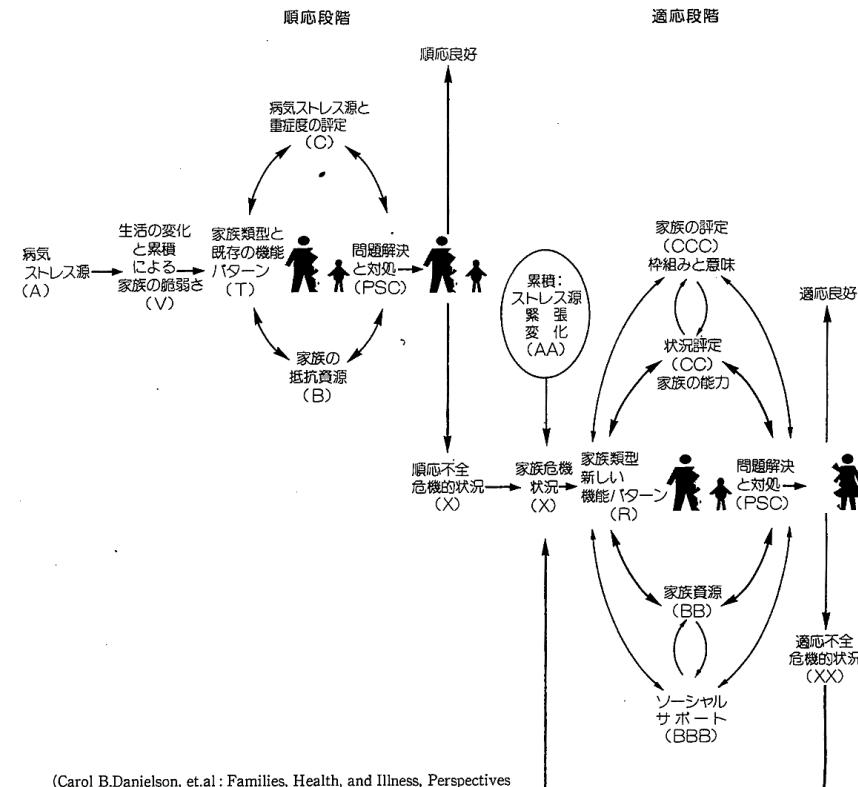
森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

家族のソーシャルサポート

1. 情緒的サポート
2. 尊重・肯定的サポート
3. ネットワークサポート
4. ()的サポート
5. ()的サポート

森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

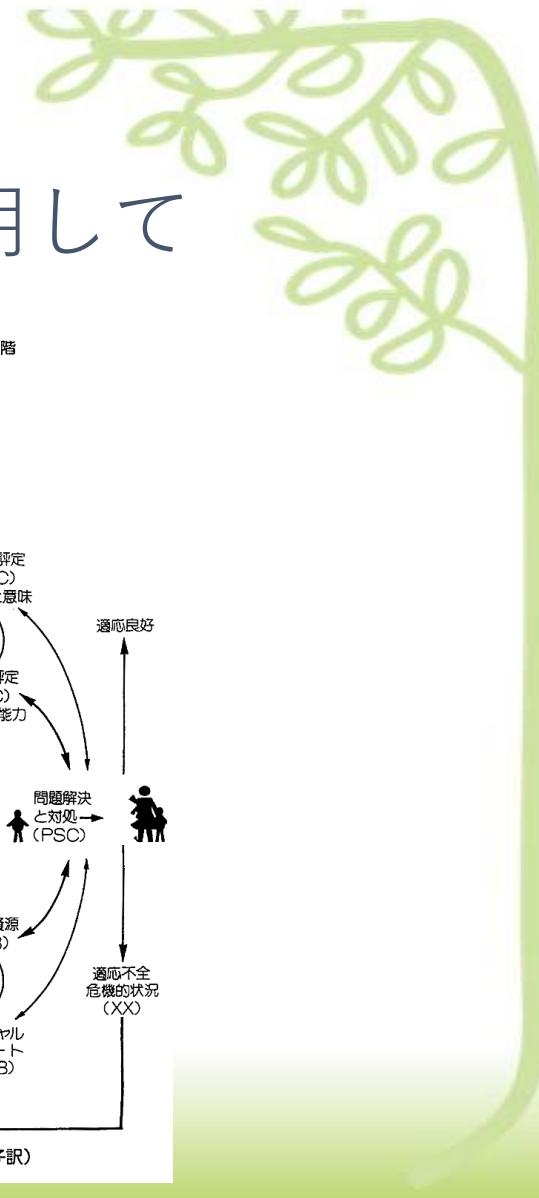
ストレス対処モデル (McCubbin,M.A)を家族看護に応用して みましょう



(Carol B.Danielson, et.al : Families, Health, and Illness, Perspectives on Coping and Intervention, 23, Mosby-Year Book, Inc, 1993, より)

図7 家族ストレス、順応、適応の回復モデル (M.A.McCubbin, 鈴木和子訳)

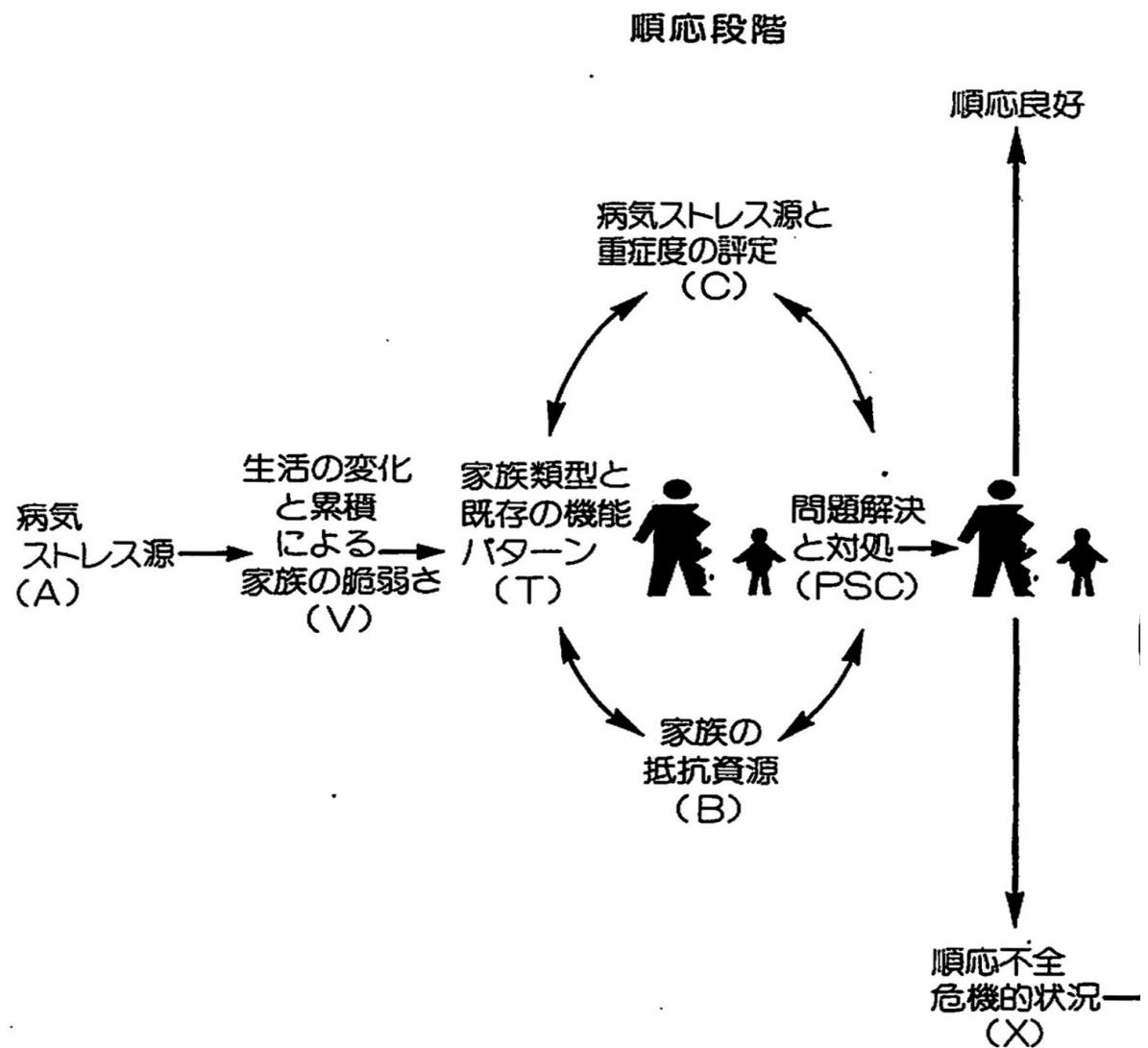
森がないと生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。



事例

23歳男性、一人っ子。両親と同居し、生活費は両親と折半。

息子はオートバイの運転中、車と衝突して救急車で病院に運ばれた。脊髄損傷で、下半身麻痺と診断された。両親は最後まで望みを捨てないでいたが、時が経つにつれて息子が一生車椅子である現実を認めないわけにはいかなかつた。

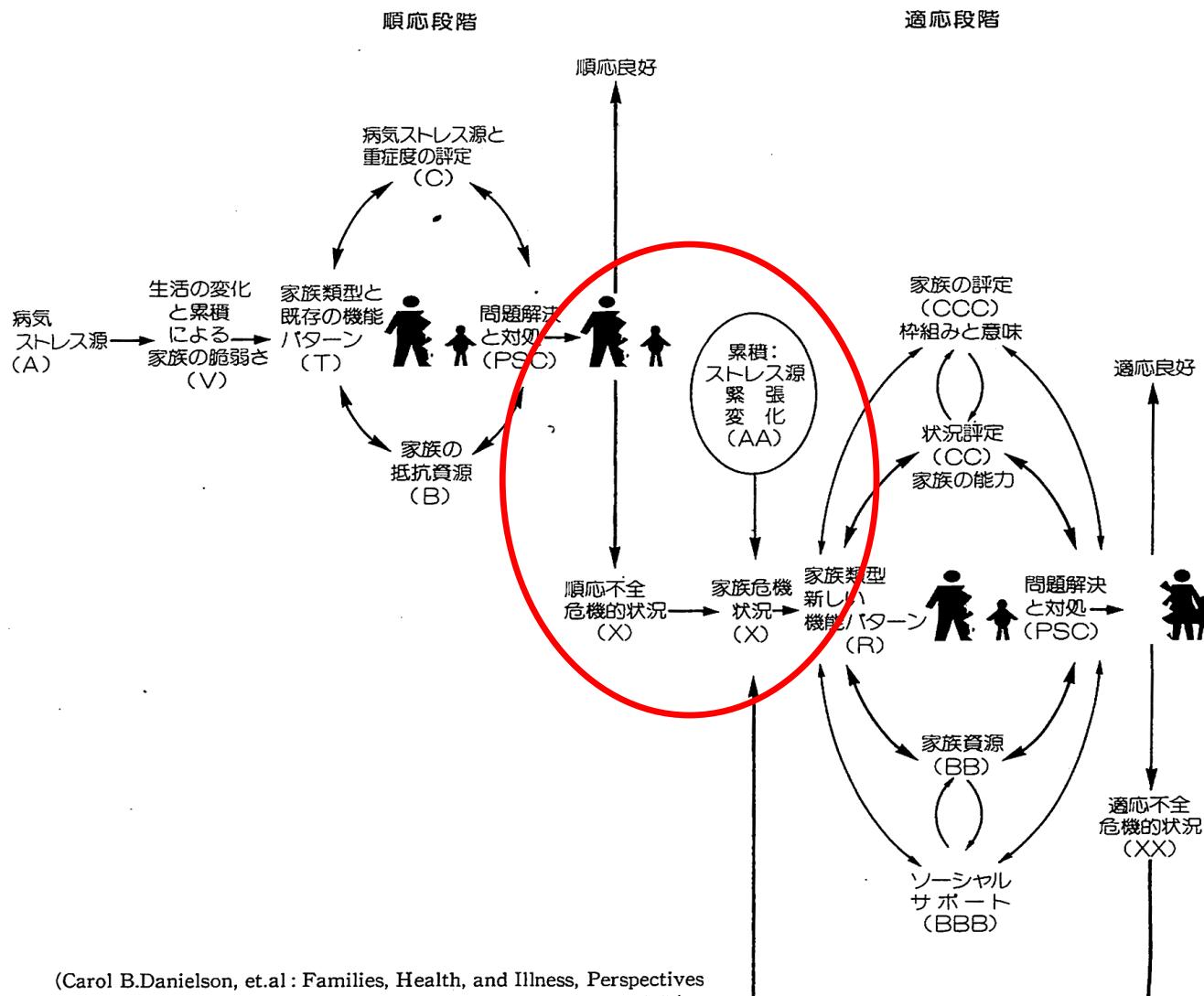


事例続き

一方、息子のほうも、うすうす事実に気がついていたが、最後に医療チームから説明を受けたときには、息子、両親ともに大きなショックを受けた。特に母親は、息子の不幸を受け取れることができず、うつ状態となり、自分を責めはじめ、胃潰瘍による吐血をしてしまった。

今度は、父親が母親の通院を支えることになった。息子は、1人で病院にリハビリに通いはじめた。

森がないと生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。



(Carol B.Danielson, et.al : Families, Health, and Illness, Perspectives on Coping and Intervention, 23, Mosby-Year Book, Inc, 1993, より)

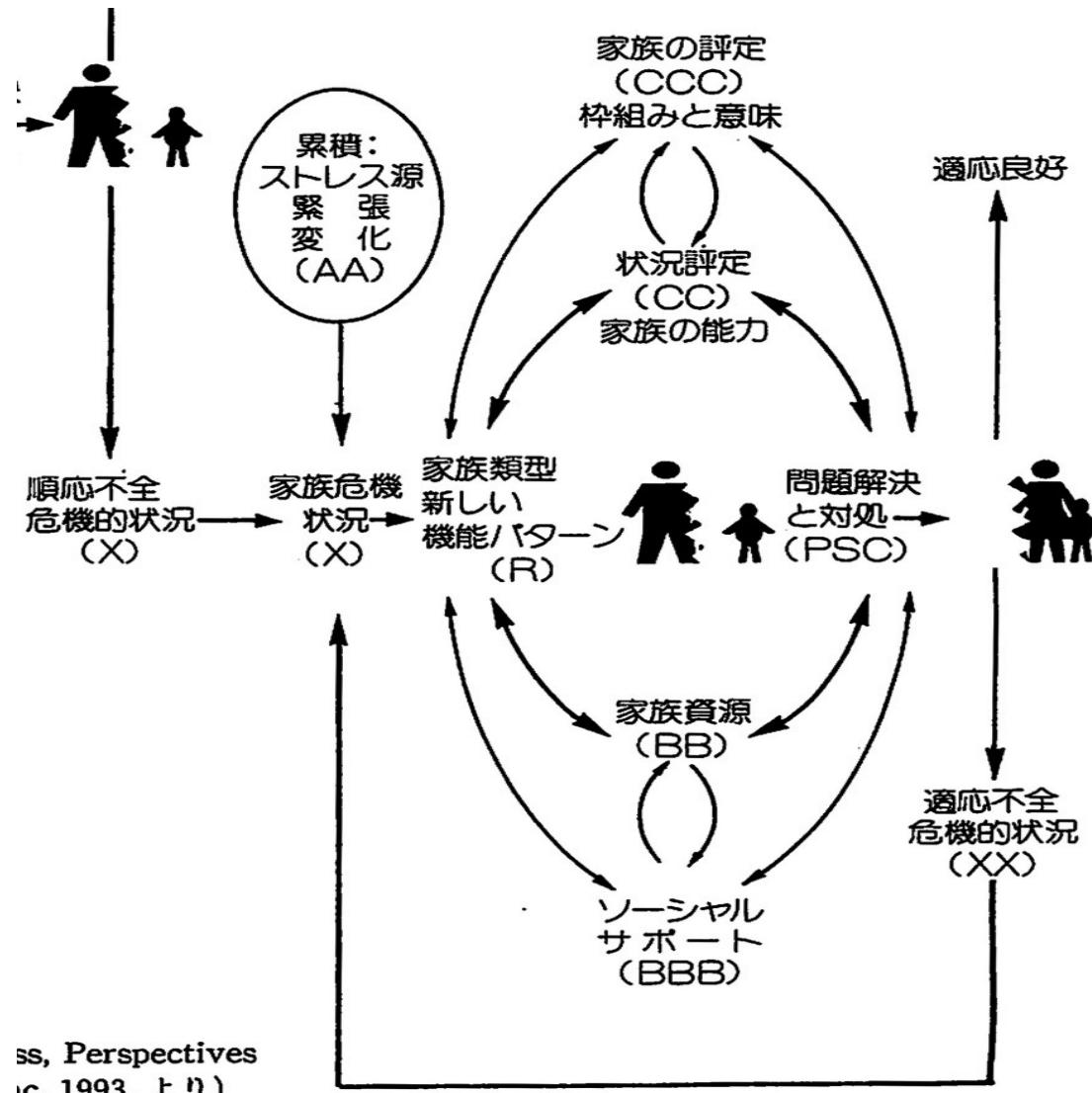
図7 家族ストレス、順応、適応の回復モデル (M.A.McCubbin, 鈴木和子訳)

事例さいご

家族は、このままでは立ち直れないと考えはじめた。

母親は、身近な人や友人で、同じようなことを体験した人の助言を積極的に聞くようになった。父親も、自宅をバリアフリーに改築する準備をすすめ、新たな生活設計に着手した。

息子は、車椅子での社会復帰を目指し、同じような下半身麻痺で生活する患者会に連絡し、退院後の生活行動の自立を目指すことにした。



きょうだいへの影響



森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。



父親、母親
きょうだい



病児 →
外来通院



病児 →
病院に入院

病児 +
母親の付き添い

森がないと生きていけないよ。ふくこそ、ヒトモ。



きょうだいは
取り残される形
になる



長期入院している小児のきょうだい どう過ごしているのか

- **自宅で祖父母等と暮らす**

同居の場合。あるいは、一時的に祖父母が
自宅に来て住むケース。

- **自宅で、父親のみ**

きょうだいが中学生くらいであるとこの
ケースも可能。幼少期は困難。

- **祖父母宅等に一時的に引き取られて暮らす**

祖父母が働いている等である場合、この
ケースもある。

年齢によって反応は様々

妹、弟の場合・・・

「祖父母宅」に預けられる、一時保育園に入

所など環境が変わることがある。



兄、姉の場合・・・

「○○は、病気だから仕方ないんだよ」

「お兄(姉)ちゃんなんだから、我慢しないと。」

急に、重い役割期待を背負うことになる。



心身への影響とその特徴

1. 活気の減少
2. 偏った愛着行動
3. 生活習慣の乱れ
4. ストレス反応

森がないと 生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

障害や病気をもつ人の「きょうだい」が抱えやすい問題

- ・患者が、身近にいることを恥ずかしく思う
- ・自分が健康に生まれたことを申し訳なく思う
- ・良い子でいなければならぬと、感情を押し込める
- ・病状が十分知らされず、理解できないため**家族の中で孤立する**
- ・**親の関心を引く**ため、非行や不登校などの問題行動を起こす
- ・親が亡くなった後の介護など、**将来にわたる負担**を感じる

森がないと生きていけないよ。ふたま、ヒトも。

きょうだいの気持ち

がんばるなっちゃん（7歳）

私もがんばってる、でも本当はさびしい。
誰か気づいて！

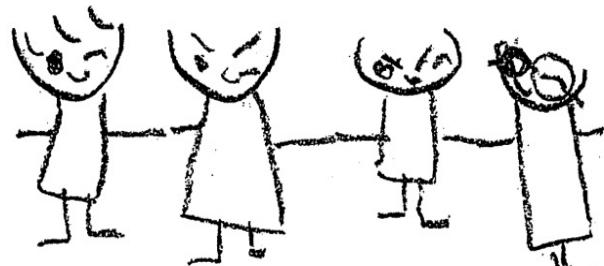
ぼくは、長い間おじいちゃんの家にいた。お姉ちゃんが病気になつて、お母さんもいつしょに病院にいることになったから。

お父さんは、土曜日や日曜日にときどき来てくれただけど、お母さんはぜんぜん来なかつた。お父さんに「お母さんに会いたい」って言つたけど、「お母さんは忙しいからだめ」と言われた。

家では、いつもお姉ちゃんかお母さんと一緒にいたのに、おじいちゃんちではひとりでつまらなかつた。いつになつたら家に帰れるんだろう？ お父さんに聞いたら、「ゆうくんがいい子にしていたら、もうすぐだよ」って言つたから、一生懸命いい子にしていただけど、ずうっと帰れなかつた。このままずうっと帰れないのかな？ ぼくはもう家ではいらない子なのかな？ ぼくが悪い子だからかな？ って心配だつた。

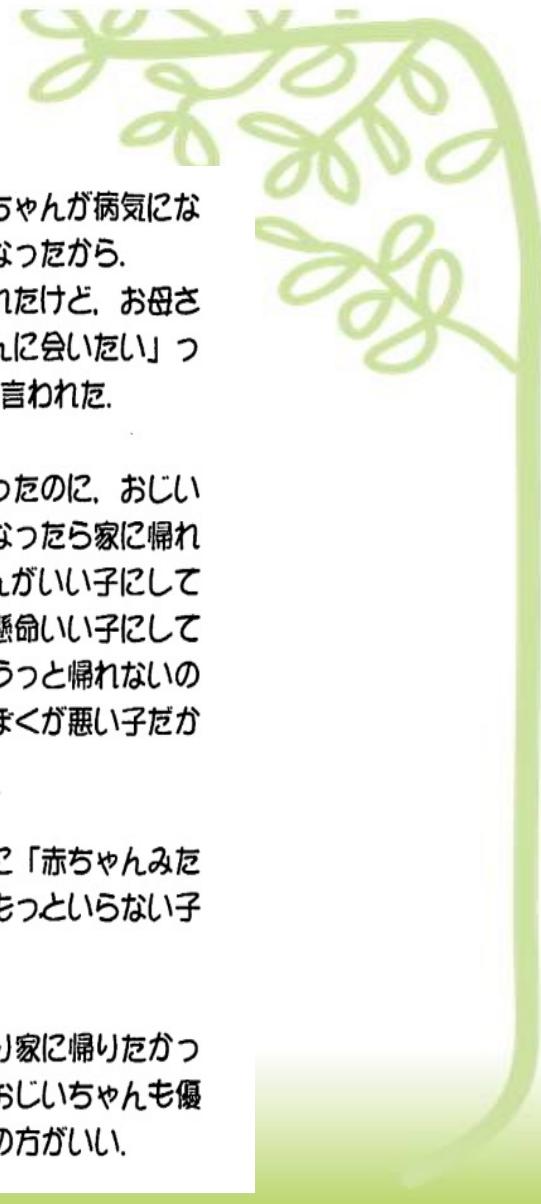
夜、おねしょをしちやつたとき、おばあちゃんに「赤ちゃんみたい」って言われた。赤ちゃんみたいだつたら、もつといらない子になつちゃうと思って、すごく悲しかつた。

友達には楽しいときもあつたけど、でもやっぱり家に帰りたがつた。お母さんに会いたがつた。おばあちゃんもおじいちゃんも優しいけど、ぼくはやっぱりお父さんとお母さんの方がいい。



みやこちゃん
“がそく”

森がないと生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。



看護師は入院している患児を中心に見てしまう

看護師は、家族の状況や、
きょうだいのことなどを含めた、
家族看護の視点を持つ!

森がないと生きていけないよ。ぶたも、ヒトも。

きょうだいへの支援(まとめ)

1. 発達段階を考慮して、理解できる言葉で、きょうだいの病気や障害、入院の真実を伝える。
2. きょうだいにも家族の一員として、お手伝いができるようにする。出来たときは、そのつど、しつかりほめる。
3. きょうだいの気持ちが表出できるように関わる。母親と二人っきりで出かけるなどの「特別な日」をつくる。
4. 看護師は、患児だけでなく、きょうだいの様子にも配慮し、必要に応じて上記を助言する。

森がないと生きていけないよ。ふたご、ヒトモ。